

豪華列車が旅した南フランス

ラリックの夢をのせて

René Lalique × Orient Express

2017年6月3日(土) - 11月26日(日)

ニースやカンヌといった高級リゾート地で有名なコート・ダジュール。この展覧会では、南フランス行きの豪華列車の旅に焦点をあて、主要な停車駅の名産や風土にまつわるルネ・ラリックの作品をご紹介します。当時の鉄道ポスターや特急列車の開通式を伝える映像など、ラリックが活躍した時代の旅行に関する作品とともに、憧れの地である南仏を目指します！

展示作品：ラリック作品 70 数点、関連作品 25 点ほど

会場：箱根ラリック美術館 館内 および 特別展示「ル・トラン」
協力：川崎市市民ミュージアム、櫻井寛、佐々木直樹、中村コレクション、曾我コレクション、日仏会館図書室（五十音順、敬称略）



「パリからニースまで、14 時間！」のキャッチコピーと車体に刻まれた「Train de Luxe：豪華列車（左画像）。コート・ダジュール号は、最新鋭の設備で快適さと速さを兼ね備えた鉄道旅行を届ける列車として注目の的でした。特に、ホテルのような豪華な室内装飾は、長距離旅行を優雅なものに演出しました。ラリックも、その担い手としてサロン・カーの室内装飾を担当し、その作品は、世界中の旅行者たちを魅了したのです。

展覧会の目玉

ラリックが内装を手掛けた南仏行きの特急列車「コート・ダジュール号」（1929 年製）。今回は特別に、この実物車両に、入館料のみで乗車できます。オリエント急行にも使用された豪華車両に乗って、旅の気分を体験していただけます。



オリエント急行秘話

実は、この車両には、1988 年のフジテレビ開局 30 周年イベント「オリエント急行日本一周」で来日した経歴があります。初の日本縦断を果たした時の貴重な写真を、「ル・トラン」会場にてご紹介いたします。



新幹線0系とともに 撮影：佐々木直樹



コート・ダジュール号の開通式記録映像
パリからニースへの道が以前よりも速く、快適な鉄道旅行になったことを祝福している。



コート・ダジュール号開通式で招待客への記念彫像
「コート・ダジュール」
1929 年

冬こそニースへ！（1930年代のニース）



イギリスやパリの有閑階級たちが、冬の寒い時期に降り注ぐ太陽の光と紺碧海岸を目指してきたことで、避寒地として人気のリゾート地であったニース。今では、一年を通して、世界各国から多くの観光客が訪れている。



アドルフ・オーエンSTEIN 作
「モナコ／モーターボートの展示会とレース」1900 年頃
川崎市市民ミュージアム蔵



ジャン＝ガブリエル・ドメルグ作
「モンテ＝カルロ」1945 年頃
川崎市市民ミュージアム蔵



暖かい地に向かうツバメとともに南仏を目指すコート・ダジュール号

里見宗次 作
「コート・ダジュール
PLM 鉄道」
1934 年
中村コレクション



名物料理：エスカルゴ

花器
「エスカルゴ」
1920 年

パリ

ディジョン



リヨン

絹織物の名産地

ラリックがリヨンの絹織物メーカーと一緒に制作したショール「マーガレット畑」
1906-1907 年



高級リゾート地

ジュエリーのサンプルをニースの顧客へ持っていったラリックジュエリー・セット「女の顔と鳥のパリュール」
1893-1897 年頃

ニース

ヴァンテミア（イタリア）

マルセイユ
コート・ダジュールへの入口

企画展スペシャルメニュー

鉄道旅行といえば・・・駅弁！

数量限定で、オリジナル弁当を販売します。旅のお供や思い出に、おひとついかがですか。



※ 画像はイメージです

夏休みワークショップ

つくって、遊ぼう！オリジナル車両

木片に好きな色を塗って、自分だけの車両をつくろう！

